

SEASONAL NEWS 季報 ポンプ & クラシックス! POMP and CLASSICS!

CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 2014年1月31日発行 第3号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行)

〒141-0021東京都品川区上大崎2-21-16-402 TEL 03-5719-7601 FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/ 発行人: 関田正幸 編集人: 徳永英樹



文化庁長官表彰を受賞して

顧問 田中 珍彦 (前会長・元株式会社東急文化村代表取締役社長)

この度協会の現顧問の田中珍彦氏が、永年にわたり文化プロデューサーとして先駆的な活動を主導し、舞台芸術・美術・映像等の多角的な活動を推進するなど、我が国の芸術文化の振興に多大な貢献をした功績により、平成25年度の文化庁長官表彰を受賞されました。田中顧問からの寄稿をご紹介します。

もう30年以上も付き合っている友人がいる。僕より6、7歳年下なのだがその頃は既に成功しており、今でも元気に仕事をしている。社会に出てから知り合ったにしては珍しいといえる長い付き合いである。仕事の中身は似てるようではあるが、根っ子の部分では全く違っている。それでもお互いに相談したり、されたり、似て非なるところが良いようで遊びも時に仕事もずっと一緒にやってきた。文化村のオープン前だと思ふ、ある時彼が言った。「田中さん、俺たちの仕事は

人間関係ビジネスって言うんだよね」聞きなれない言葉に思わず考え込んだ。成程、頼んでも頼まれても、見える話も見えない話も、基に信頼できる人間関係があったればこそなのだと思う納得した。

今回、文化庁長官表彰の被表彰者の榮に浴したことについては、正しく会長をはじめ協会各位との人間関係があったればこそと、改めてそのことを身に沁みて思ったことあります。本当に有難うございました。

開催間近!! 音楽事の連携シンポジウム

「地域のオリジナリティ溢れる事業展開に向けて」

劇場・音楽堂等の活性化に関する法律が施行され、地域の文化振興を担う全国のホールでは積極的な事業展開が求められています。そこで、今回のシンポジウムでは、音楽に特化して、全国のホールと音楽事業者との連携による、地域のオリジナリティ溢れる事業展開に向け、何が必要なのかを探りたいと思います。

【基調講演とシンポジウム】

基調講演 「地域における人と行政、そして芸術との関わりについて」

飯森範親 (指揮者/山形交響楽団音楽監督/東京交響楽団正指揮者)

シンポジウム 「地域のオリジナリティ溢れる事業展開に向けて」

パネリスト: 井坂仁志 (秋田県アトリオン音楽ホール プログラム・ディレクター/ART∞LINKS代表)

梶 吉宏 (三重県文化会館館長)

小牧達彦 (アクロス福岡 企画プロデューサー)

寺田尚弘 (りゅうとびあ新潟市芸術文化会館 企画制作音楽担当主任)

水畑孝之 (いずみホール [大阪] 企画部長)

司会・コーディネーター: 入山功一 (一般社団法人日本クラシック音楽事業協会副会長/
(株)AMATI代表取締役社長)

期 日 2014年2月7日(金)13:30~15:30 [受付開始13:10~]

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501会議室

入場料 無 料 (要事前申込)

主 催: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 共 催: 公益社団法人全国公立文化施設協会
(問合せ: 03-5719-7601)

地域のオリジナリティ溢れる事業展開に向けて

基調講演 地域における人と行政、そして芸術との関わりについて

シンポジウム 地域のオリジナリティ溢れる事業展開に向けて

2014.2.7(FRI) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501会議室

13:30~15:30

入場無料 要事前申込

申込用紙 申込締切日: 2014年2月3日(火) FAX: 03-5719-7603

上記シンポジウムに申込を付します。

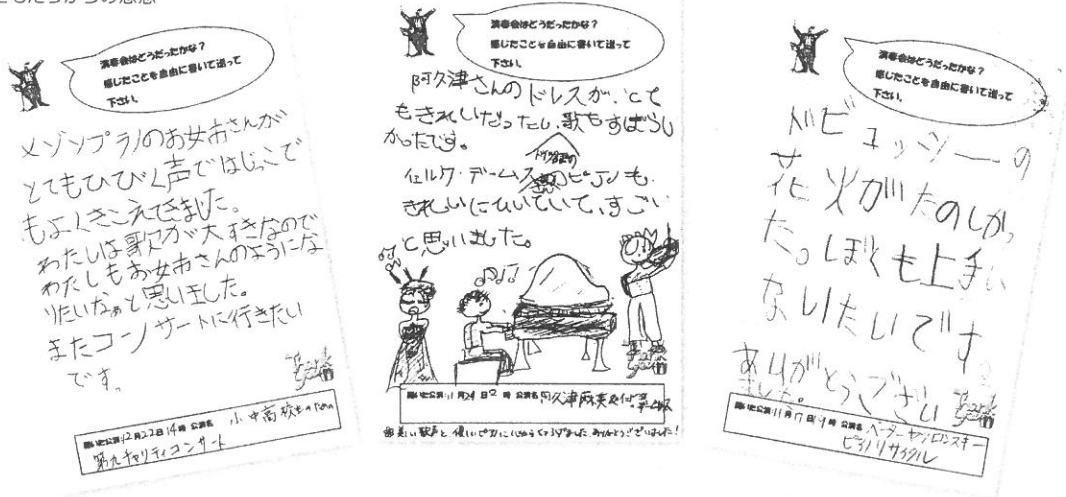
Topics

「ジャパン・クラシック・フェスティバル2013 Vol.2」 大好評の内に終了

昨年11月～12月にかけて全国で展開されたジャパン・クラシック・フェスティバル2013 Vol.2 が大好評のうちに終了しました。今回のフェスティバルでは、全72公演、約800名の青少年とその保護者をコンサートに招待する事が出来ました。現在、コンサートの感想ハガキも続々と事務局に寄せられており、後日公式報

告書にて改めてご報告させていただきます。公演を提供いただきました会員各位を始め、ご協賛いただきました日清製粉グループ、ヤマハ株式会社、ヤマハ音楽振興会の各位に御礼申し上げます。

子どもたちからの感想



丸の内元気文化プロジェクト

丸ビルBright Christmas コンサート/新丸ビル新春コンサートが開催されました。

この事業は三菱地所株式会社の主催により、丸の内元気文化プロジェクトの一環として開催されており、年末のクリスマスモード溢れる丸ビルではBright Christmas コンサートが二日間、新年の初の三連休では多くの人々に賑わう新丸ビルにて新春コンサートが三日間にわたり開催されました。

- 2013年12月21日(土) 17:30～18:10
「丸ビルBright Christmas クリスマスコンサート
～オペラ歌手による聖なる一夜～」
出演：納富景子(ソプラノ)、井出司(テノール)、藤井麻理(ピアノ)
[企画提案：(株)プレレディオ]
- 2013年12月22日(日) 17:30～18:10
「丸ビルBright Christmas クリスマスコンサート
～Quatuor B(クワチュール・ベー)きらめきのサクソフォーン四重奏～」
出演：國末貞仁(ソプラノサクソフォーン)、山浦雅也(アルトサクソフォーン)、
有村純親(テナーサクソフォーン)、小山弦太郎(バリトンサクソフォーン)
[企画提案：(株)ミリオンコンサート協会]
- 2014年1月11日(土) 15:00～15:45
「新丸ビル 新春コンサート～田村哲サクソフォーン・カルテット～」
出演：田村哲(ソプラノサクソフォーン)、角口圭都(アルトサクソフォーン)、
椿義治(テナーサクソフォーン)、田口雄太(バリトンサクソフォーン)
[企画提案：(株)オレンジノート]
- 2014年1月12日(日) 15:00～15:45
「新丸ビル 新春コンサート～心をうたい、心にとどける音楽会～」
出演：亀井良信(クラリネット)、大石将紀(サクソフォーン)、松尾俊介(クラシックギター)、
長崎麻里香(ピアノ)
[企画提案：(株)オカムラ&カンパニー]
- 2014年1月13日(月・祝) 15:00～15:45
「新丸ビル 新春コンサート～Trio Rossa 華麗に舞う響きの三重奏～」
出演：竹花加奈子(チェロ)、菅野朝子(ヴァイオリン)、町田美弥子(ピアノ)
[企画提案：(株)ブライトワン]



12/22 Quatuor B



1/13 Trio Rossa

FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)が19年ぶりに日本で開催!



FACP新会長 茂田雅美氏

FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)は、当協会の前身である「音楽マネージャー協会」の会員が中心メンバーとなり1979年に設立され、アジア13カ国の国と地域から舞台芸術関係団体が加盟しています。毎年アジア各国を持ち回り開催し、昨年はチェンマイで開催されアジアはもとより欧米からも200名以上が出席、オープニングスピーチをタイの文化副大臣がするといった舞台芸術分野で最も重要な国際会議に発展してきました。

日本で開催された会議は1995年の神戸大会でした。その後、日本の関与はほとんど皆無となりFACPにおける日本のプレゼンスは低下するばかりでした。

当協会の茂田雅美理事が2010年からFACP副会長に就任、2013年11月のチェンマイ大会に於ける選挙にて会長に選出され、2014年9月にはFACPカンファレンスを川崎市に誘致するに至りました。

「FACP2014日本会議 in 川崎」は、2014年9月11~14日に昭和音楽大学キャンパス内にて開催する予定です。尚、実行委員会には、茂田雅美理事が委員長を務め、当協会の関田正幸会長、下八川共祐副会長、福田成康副会長、佐藤修悦監事、正会員のナカツボ・アーツの中坪功雄氏らが名を連ねています。

活動報告

11月8日 マネジメント部会・ホール部会共催、消費増税に伴う意見交換会

2014年4月から消費税が8%に増税されます。会員の業種が多岐にわたるため統一ガイドライン等は設定しませんが、チケット・ホール料金の設定や顧客への周知方法等、共通の懸念・課題がありますので、会員同士の情報交換を行いました。

11月11日 ACPC(コンサートプロモーターズ協会)幹部と協会三役の懇談会

ACPCの中西会長と今泉事務局長を協会の関田会長、徳永専務理事、丹羽理事事務局長が訪問し、業界の概況や社団法人の運営等について意見を交換しました。

12月4日 平成25年度文化庁長官表彰 表彰式

田中顧問が受賞されました。

(詳細は1面)

12月6日 四役会を開催

出席:関田会長、下八川副会長、林副会長、福田副会長、徳永専務理事、丹羽理事事務局長

1月17日 第3回定例理事会、平成26年新年会

理事会では今年度の事業の進捗報告の他、従来より課題となっている会員資格と会費制度の改革について意見交換等を行いました。

(新年会については4面)



丸の内元気文化プロジェクト

(詳細は2面)

宝くじドリーム館ランチタイムコンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にては毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会に行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。

11月27日 東京 Dual KOTO×KOTO/箏デュオ(ブレルーディオ所属)

11月28日 大阪 Quatuor B/サクソフォン四重奏(ミリオンコンサート協会所属)

12月11日 東京 大石将紀/サクソフォン、(音楽芸術家協会所属) 沢木良子/ピアノ

12月12日 大阪 松尾俊介/クラシックギター(オカムラ&カンパニー所属)

1月22日 東京 甲斐摩耶/ヴァイオリン(音楽芸術家協会所属) 中島由紀/ピアノ

1月23日 大阪 神谷未穂/ヴァイオリン(ミリオンコンサート協会所属) 中川賢一/ピアノ



クラシック コンサート

11/27 Dual KOTO×KOTO



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,000人、登録曲2万曲超

『曲』を軸として各種情報へリンクしているオンラインの事典です。楽曲解説、視聴音源、楽譜、コンサートなど各種情報へアクセスできる、プラットフォームを目指しています。

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/

●書籍好評販売中! 音楽とともに働きたい人の必携書!!

「クラシック・コンサート制作の基礎知識」

好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 2,100円(税込・送料別)

お申込み・お問い合わせは事務局まで。

発行 株式会社ヤマミュージックメディア 制作 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



What's New



平成26年新年会を開催しました

1月17日(金)15:30~17:30 東京オペラシティ18階イーストキャラバンにて、平成26年新年会を行いました。来賓、会員、所属アーティストを含め約120名の参加者が親睦を深め、クラシック音楽の普及に向けて気持ちを新たに新年のスタートを切りました。



文化庁
川端文化部長の祝辞



田中顧問 文化庁長官表彰受賞のお祝い



遠藤顧問による乾杯



心の復興音楽基金の寄付者様代表へ御礼

今後の活動予定

2月7日

音楽事業の連携シンポジウム ～地域のオリジナリティ溢れる 事業展開に向けて～

地域のホールと事業者との連携について考えます。

時間:13:30~15:30

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター
センター棟501会議室

入場料:無料(要事前申込)

共催:公益社団法人全国公立文化施設協会

問合せ先:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL:03-5719-7601

2月10日、24日

公共ホール音楽活性化 アウトリーチ・フォーラム事業 島根セッション 選考会

10日は書類と音源による予備審査、24日は昭和音楽大学ユリホールにてライブ演奏による本審査(非公開)です。[本会制作協力事業]

3月12日

第2回会員研修会

メディア対策を中心に行う予定です。

(時間、場所等詳細は未定)

宝くじドリーム館 ランチタイムコンサート

2月26日 東京 渡邊史/ソプラノ
(東京二期会所属)

2月27日 大阪 デュエットウ かなえ&ゆかり/ピアノデュオ
(プレラーディオ所属)

3月19日 東京 スペシャルコンサート
仲道郁代/ピアノ(ジャパン・アーツ所属)
小野明子/ヴァイオリン(アスペン所属)
唐津健/チェロ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)

3月20日 大阪 スペシャル ガラ コンサート
田村緑/ピアノ(プロアルテムジク所属)
磯絵里子/ヴァイオリン(1002所属)
沢崎恵美/ソプラノ(日本オペラ振興会所属)
吉川健一/バリトン(東京二期会所属)

※4月以降も開催します。

リレーエッセイ



副会長
下八川 共祐

(公益財団法人日本オペラ振興会常任理事/学校法人東成学園理事長)

このところ劇場公演時におけるPAが気になっています。一言でいえば必要以上に大き過ぎるのではないかと思います。

演者の発する音が左右のスピーカーからしか聞こえない。つまり音源位置が無視されており、ために臨場感や立体感が稀薄となる。さらにリヴァーブが利き過ぎて機械的な残響が劇場を包み、いかにも人工的で、これではCDを流しても同じ。何のためのライブだろうか。

舞台芸術界全体が少しPAに頼り過ぎる傾向にないだろうか。日々技術の革新で優れたものの機器がどんどん産まれてくる。マイクにスピーカー、そしてデジタル音響卓、照明もLEDの登場や、映像、レーザー等々がコンピューターで管理されることがもう当たり前になっているようですが、何か基本的な事が忘れられていないか。もう結構長いこと音楽業界を歩んできたものの一人としては、苦言を呈せざるを得ないのですが。

大切なことは、人の感性に訴える舞台づくりだと思いますが、さて…。

♪ タイトルの「ポンプ&クラシックス - Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エルガーの名曲「威風堂々行進曲(Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いから付けられました。